

令和3年度第2回美祢市行政改革大綱推進委員会 会議録(概要)

日 時 令和3年12月10日(金)14時00分～15時30分

場 所 本庁3階 委員会室

出席委員 仲間瑞樹委員、井上静夫委員、下松富二夫委員、宮崎義明委員、山田悦子委員、山崎晶子委員、高木 学委員、品川智宏委員、梨木教史委員、向山久高委員

事務局 デジタル推進部 田辺部長、デジタル推進課長 竹内  
デジタル推進課情報政策班 藤本班長

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 第三次美祢市行政改革大綱実施計画の進捗状況報告について

- ・資料に基づき事務局から説明
- ・委員からの質疑(要旨)・意見

委員	今後のクラウドファンディングのあり方、主に市内事業者に対する活用について、取り組みは？また、秋吉台などの観光地におけるWifiの整備について確認したい。
事務局	このたび実績報告にあげているのはガバメントクラウドファンディングの取り組みである。民間事業者に対する取り組みは特に実施していない。事例があればご教示いただきたい。Wifiについては、施設整備が終了した。今後はアプリやサービスの展開について、担当課で検討しているところである。
委員	Wifiの活用について、洞内案内に人気声優を登用するなどの取り組みを行ってみたいは？
事務局	ご提案について、担当課に前向きに検討するよう伝える。
委員	養護老人ホームの管理運営方法の見直しについて確認したい。見直しにあたって、勤務している人の意識が変わるような取り組みも重要と考える。
事務局	管理運営方法を直営、委託、指定管理のいずれにかに決定することがまずは大きなところである。サービス面や職員の働きやすい職場環境を作ることとは当然配慮すべき事柄であると考えます。
委員	<意見> 現在の美祢市のふるさと納税の返礼品数が極端に少ない。返礼品を増やすということは、納税額の増加、地元の産業振興につながるの、見直しをするべきである。

(2) 美祢市 DX 推進計画(案)について

- ・資料に基づき事務局から説明
- ・委員からの質疑(要旨)

委員	DX の推進について、どのようにして市民に分かりやすく伝えるつもりですか？
事務局	スマートフォン一つで何でも出来るというような社会の実現をイメージしてもらえれば、市民はわかりやすく伝わると考えている。市民にはこのことを何度も繰り返し説明したいと考える。
委員	市民すべての世代に、また、すべての地域をカバーする DX の取組が必要

	と考えるが、このことについて、市の取組は如何に？
事務局	デジタルデバイスへの対応、特に高齢者に対する取り組みは重要と考えている。スマホ教室やマイナンバーの出張申請等の取組を行う事としている。
委員	マイナンバーカードの取得率 90%を目標に掲げているが、達成の見込みは？また、オンライン手続きの 30 手続きについて確認したい。
事務局	出張申請等のマイナンバーカードの取得促進に向けた取り組みを通じて、目標を達成したいと考える。国の新たな取得促進策も大きな後押しになると考えている。オンライン申請の 30 手続きについては、国の計画で重点的に進められる児童福祉関連や介護関連の手続きであり、本市も優先的にこれらの手続きのオンライン化を図りたい考えである。
委員	計画の推進について、市民や事業者からの視点での取り組みは？
事務局	市民等への DX の効果は、マイナンバーの普及が重要であると考えている。そのためにはマイナンバーの普及について、まずは、重点的に取組む考えである。
委員	マイナンバーの普及のためには、マイナンバーカード取得の動機付けが重要と考える。市はどう考えているか？
事務局	マイナンバーカードが健康保険証や運転免許証になるというお知らせは以前から行っているところであるが、制度の構築とマイナンバーカードの普及が同時進行している状況である。現時点では市民がメリットを感じにくく、普及が図られていないと感じている。今後は普及に向けた国の施策により、インセンティブが働き取得は大きく伸びると考えている。
委員	国の方針に基づいた DX の取組はもちろんであるが、市のオリジナリティ部分での市民サービスの向上等を図っていただきたい。また、オープンデータについては、可能な限り早く充実させること。市のデータを事業者等に提供できないということは、市にとってかなりのマイナスになる。
事務局	国の推進する取り組みについては、粛々と進める。また、市のオリジナリティを出し、効果的に推進していきたいと考える。オープンデータの推進については、できるだけ早く対応したい。
委員	DX の推進にあたっては、人材育成が重要と考える市の考えは？
事務局	DX は市全体(すべての所属)で取り組むものと考えている。また、その市全体の底上げを図るためにも、デジタルに係る職員研修が重要と考えており、今後計画的に研修を充実させていくこととしている。

### (3) 公共施設等総合管理計画基本方針の改訂について

- ・資料に基づき事務局から説明
- ・委員からの質疑(要旨)

委員	今後の施設の建替えの能力(財源)は確保できるのか？
事務局	すべての建物の建替えは困難であると考えている。この計画は、施設の適正化を図るものであり、その適正化とは面積を減らすことが大きな目的となっている。
委員	計画では、施設の除去により、維持管理経費が減少するトレンドになっているが、実際に施設を廃止した後に、除却が進まなければこの計画通りにならないと考える。除却に係る予算化はなされているのか。
事務局	施設の建替えと同時に可能な限り除却することとしているが、除却に係る経費をできるだけ、平準化する考えから、廃止後翌年や翌年以降に予算計上し対応する場合もある。現状では概ね適正に計上してあると考えている。

### 3 その他

- ・DX 推進計画の今後のスケジュールについて資料に基づき事務局から説明。
- ・現行の委員が 12 月末日で任期が終了することを踏まえ、田辺デジタル推進部長から委員に対してお礼のあいさつがあった。